

一 般（代 表）質 問 通 告 一 覧 表

令和 7 年第 4 回笠岡市議会定例会

9 月 1 1 日（1 日間）

通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	答 弁 者
1 いぶき 妹尾 博之	1 島しょ部における行政サービスの維持・確保について	陸地部と同様の行政サービスを島しょ部へ提供することは、島しょ部を持つ自治体にとっては、重要な行政課題の一つと考えます。 本市においても、こうした行政課題の解決に向けて、長年にわたり多くの施策を実施してきたところですが、離島特有の地理的環境での行政サービスを提供するには、人・物の移動手段の確保が、重要な部分を占めると考えます。 本市では政策実現に沿う形での移動手段として、3 隻の船舶を所有し行政運営に資しているところです。 こうした中で、建造物の宿命として更新や耐用年数の問題が発生します。また、少子高齢化による人口減少が言われている中で、船舶の運行に必要なマンパワー不足が現実問題化していることから、今後の持続可能な行政サービスの維持・確保について本市の考えを以下、尋ねます。 (1) し尿収集船(環境課)・スクールボート(教育委員会)・救急艇(消防組合)の分散管理・運営について (2) 一括外部委託検討の有無について (3) 公共交通における、普通船のフェリー化について (4) 1 つの島の人口が 50 人を下回った場合の離島振興について	市 長 〃 〃 〃
2 公明党 齋藤 一信	1 笠岡湾干拓臭気対策について	(1) 笠岡湾干拓地の臭気対策について、民間から寄せられる技術・資材・運用改善の提案の扱いをお尋ねします。技術提案の窓口	市 長

		の一本化，第三者（大学・県機関・有識者）を含む評価委員会の設置，試験導入の創設，結果の公開についての考えをお示してください。 （２）市民に“何を，どう改善しているか”をわかりやすく伝え，地域の知恵と外部専門性を呼び込むため，臭気改善に向けたシンポジウム（または公開検証会議）を定期開催してはどうでしょうか。市の方針を伺います。	市 長
	2 財政健全化と持続可能な行政運営について	市の財政健全化プランの具体的な進捗，効果見通し，将来計画への影響についてお尋ねします。現在の財政健全化プランの進捗状況と，その見通しをお伺いします。 さらに，第８次笠岡市総合計画策定と併せ，市民サービスへの影響をどう考えているのか，お考えをお示してください。	市 長
	3 市民病院建設について	来年２月の契約判断に向けて，やるかやらないか，どの規模で進めるかについて，地域医療に必要な規模，一般会計の負担のめど，医師の確保見通し，救急・災害対応，物価・工事費の変動リスクなどといった観点からの判断が必要になってくると思います。 その結果，①99床とする，②縮小とする，③段階的整備とする，④廃止するという結果が出てくると思いますが，その過程での判断プロセスを共有していただくことは可能ですか。また，最終判断に至るまでの説明の場とスケジュール，必要に応じた見直しの余地についても併せてお示してください。	市 長
3 創政みらい 山下 恭司	1 歳入について	（１）国は2025年度当初予算では過去最高の78兆円を見込んでおり，本市も今年度の歳入の伸長を見込んでいますが，本市の歳入の見通しについてお尋ねします。	市 長

		(2) 財政健全化プランの中で、ふるさと納税の推進、未利用地及び施設の売却・貸付、新たな財源の確保等の取組を行い歳入を増やすことにしていますが、これらの進捗状況についてお尋ねします。	関係部長
	2 3 大プロジェクトの進捗状況について	(1) 自治体病院の85%が赤字との新聞記事がありますが、市民病院の現状と今後の見通し及び市民病院の建て替えの状況についてお尋ねします。 (2) (仮称)篠坂PAスマートインターチェンジについて、3年延長と仄聞しますが、現状について、また、企業誘致の現状についてお尋ねします。 (3) 国道2号笠岡バイパスについて、令和7年度に一部開通し、盛土の地盤沈下の部分は未定のようなのですが、現時点での状況について、また、道の駅笠岡ベイファームにおけるPFI事業終了後の指定管理者の指定、リニューアルのサウンディング調査、国道2号笠岡バイパスの開通の時期が重なりますが、これらを一体的に考え、70万人以上の集客を目指すための取組について尋ねる。	関係部長 〃 〃
	3 減税について	(1) 消費税が10%から5%になった場合、どのような影響が考えられますか。7月の参議院議選挙では物価高騰対策として与党が現金給付を掲げたのに対し、野党は消費税減税を主張しました。消費税減税は実感がある反面、社会保障を支える財源を失うこととなります。本市の歳入の構成比を見ると、地方交付税が21.7%、地方消費税交付金が4.3%と、この2つで歳入の4分の1強となっています。消費税は国税分7.8%と地方税分2.2%となっており、相当影響がある	市長

		とを考えます。 このような状況下において本市の予算にどのような影響があるかお尋ねします。 (2) ガソリン税の暫定税率廃止も廃止の時期や 1.5 兆円の代替財源確保が見つからず協議が続いています。暫定税率廃止となった場合、本市の歳入への影響についてどのように考えますか。 (3) 消費税は 2014 年以降の引き上げ分については、年金医療介護などの社会保障に充てられています。予算書でも地方消費税交付金の使途について税率引き上げ分 6 億 3,600 万円計上がされていますが、消費税 5 % となった場合、市民への影響はどのように考えますか。 (4) 物価高騰対策として消費税を下げた経済活性化により税収増になればという考えもありますが、反面、地方行政の立場では地方交付税や地方消費税交付金が減額になります。国等に対して、このことに対して要望する等の考えはありますか。	関係部長 〃 市 長
	4 ふるさと納税について	(1) 本市では、寄附金収入を 7 億 3,460 万円と見込んでいます。月例の報告では 7 月実績で 9,935 万円、前年同期比で 2 割増しの状況ですが、令和 7 年度の見通しについて、また、増額としている要因についてお尋ねします。 (2) 歳出にある返礼品等の経費を差し引いた正味の寄附金額は、かさおか思民基金積立金 3 億 5,556 万円で、寄附金収入 7.41 億円の 48 % と考えますが、ふるさと納税の正味の収入金額はいくらとなりますか。 (3) 市民がふるさと納税を他市にした場合、本来、本市に入る市民税が流出することに	関係部長 〃 〃

		なります。流出する市民税の 75%を国が地方交付税で補填していますが、流出している金額はいくらですか。 (4) ふるさと思民寄附条例では、「市長は、前年度分の当該寄附金の活用状況を毎年 6 月 30 日までに公表しなければならない」となっていますが、どのように公表していますか。また、前年度分の当該寄附の活用という考えは、例えば 5 年度 1.81 億円の積み立てをして 6 年度事業に 1.86 億円活用しましたと報告にあるので、納税は次年度に使い切り基金には貯めないということでしょうか。また、令和 6 年度末の基金残高はいくらですか。 (5) ポイント制が 9 月 30 日までとなっていますが、ポイント制についてお尋ねします。	市 長
	5 4 つの無償化について	放課後児童クラブ費、学校給食費、2 人目以降の保育料、高校生まで医療費の 4 つの無償化について現状と課題を伺います。	関係部長 市 長
	6 臭気対策事業について	(1) 臭気対策について、バイオガス発電での処理や臭気対策資材購入の一部補助、臭気分解ネットなどの対策を行っていますが、現状と課題についてお尋ねします。 (2) 臭気の見える化として干拓と本庁舎に機器を設置して定点観測行っていますが、分析状況をお尋ねします。 (3) 市長が目指す、窓を開けて生活できる環境の実現の時期についてどのように考えていますか。	関係部長 " 市 長
4 讃志会 西山 博行	1 笠岡市における観光振興について	(1) 笠岡諸島や干拓地といった地域資源を生かした観光振興が、第 7 次総合計画では重点施策として挙げられていました。しかし、財政健全化プランがスタートした現在、観光客誘致の一つの手段であったイベント経	市 長

		費や各種団体への補助金が削減されています。観光客誘致の手段を削りながら、どのようにして観光客数を維持、あるいは増加させていくのか、第8次笠岡市総合計画策定における本市の基本的な方針をお尋ねします。 (2) 大規模なイベントや新規の観光開発が困難となる中、第8次笠岡市総合計画(案)でも引き続き「地域がまちを知り、地域へ訪れる人の創出につながるまち」交流人口の拡大が目標として挙げられています。道の駅笠岡ベイファームへの集客を市内周遊につなげるという従来からの課題の解決も急がれます。 財政制約下で、観光客を引きつけるための、費用対効果の高い新たな戦略について、具体的な考えをお尋ねします。 (3) 持続可能な観光地となるためには、従来のイベント依存型から脱却し、新たなモデルを構築する必要があります。例えば、デジタルマーケティングの強化、民間事業者との連携による体験型コンテンツの開発、空き家を活用した滞在施設の誘致など、本市の直接的な財政負担を抑えつつ、地域の魅力を収益につなげる具体的なロードマップをどのように描いているのか、お尋ねします。	関係部長 〃
	2 将来を見据えた笠岡市の農業について	(1) 第7次笠岡市総合計画から第8次笠岡市総合計画(案)に至るまで、農業の振興、特に高付加価値化と担い手の確保が重要課題とされています。しかし、農業従事者の高齢化は深刻です。 本市の財政状況を踏まえた上で、新規就農者を効果的に誘致し、定着させるための	市長

		導入，あるいは児童生徒が主体的にデジタルツールで作品を創造するプロジェクト型学習の奨励など，目指すべき「笠岡市の教育D X」の具体的なビジョンをお尋ねします。 (2) 教育D Xの成否は，現場の教員の指導力にかかっていると思います。教員が自信を持ってI C T機器を効果的に活用し，新たな授業スタイルに挑戦できるよう，市教育委員会として，どのような研修計画やサポート体制を構築しているのでしょうか。多忙な教員が研修に参加しやすい環境整備や，教員同士が実践例を共有し学び合えるプラットフォームの構築など，具体的な支援策についてお尋ねします。 (3) 予測困難な時代において，子供たちには知識の習得だけでなく，自ら課題を発見し，他者と協働して解決する力が求められます。 本市の教育において，地域の課題をテーマとした探究学習を実践し成果を上げていますが，その他，情報活用能力や論理的思考力を育むプログラミング教育，金融リテラシー教育など，いわゆる「非認知能力」を育むための新たな教育プログラムを導入・拡充する具体的な計画はあるか，本市の見解をお尋ねします。	関係部長 〃
5 みんなの笠岡 守屋 基範	1 笠岡市の魅力化について	(1) 栗尾市長就任後，約1年半，1期の3分の1が経過したわけですが，財政健全化という大きな仕事をなされたとお考えだと思いますが，その具体的な成果と今後公約を推進するための見通しをお示してください。 (2) 笠岡市＝財政難というイメージが市内外に周知されているという感が否めませんが，今後笠岡市のイメージアップのために	

		どんな魅力化ビジョンをお持ちですかお尋ねします。	
	2 笠岡湾干拓地の魅力化について	(1) 臭気対策を重点課題としてマスコミ等にアピールされているので干拓＝臭気対策というイメージがぬぐえません。笠岡湾干拓の魅力をどのようにお考えですか。 (2) 7月から毎週火曜日に実施している「干拓地バスツアー」について、その主たる目的及び、これまでの参加者の傾向をお尋ねします。 (3) 臭気対策チームとして課題解決に向かっているように見えますが、臭気に関しては、専門家でチーム編成をし、道の駅笠岡ベイファーム・干拓農業等の市を挙げてよいところを伸ばすことに関しては、「干拓魅力化チーム」として市役所の職員でチーム編成するのがよいと考えますが、見解をお尋ねします。	市 長 関係部長 市 長
	3 日本遺産の魅力化について	「悠久の時間が流れる石の島」として2市2町で受けている日本遺産認定から6年経過し、このほど審査が行われ、めでたく再認定されました。 (1) 所管の文化庁の評価と今後の課題についてお尋ねします。 (2) 以前から島の盛り上がりが課題として指摘されていますが、これまでどのような取組をされましたか。今後、日本遺産を生かした地域の活性化をどのように展開するのか、プランをお示してください。	関係部長 〃
	4 地域おこし協力隊について	(1) 現在の地域おこし協力隊の募集に関しての方法論、着任後のサポート、任期終了後の本市への関わり方についてお尋ねします。 (2) 募集に関して、ミッション型の場合、数行でその内容を伝えることは不可能です。	関係部長 〃

		人材獲得のためには、担当課や地域がどのような人材にどのような仕事を期待しているのか具体的な内容の記載が必要と考えますが、見解をお尋ねします。	
	5 地域の魅力 化について	(1) まちづくり協議会の地域格差が年々拡大しているようですが、市としてのまちづくり協議会の在り方、地域担当職員の役割等についてお尋ねします。 (2) 今後、持続可能な地域づくりを進めるに当たり、まちづくり協議会の法人化等の方向付けが不可欠と考えますが、見解をお尋ねします。	関係部長 〃